

みすゞ保育園を招待してシロアマダイ放流を行いました

- 2023年7月14日、（公社）山口県栽培漁業公社外海栽培センターにて、シロアマダイの放流が行われました。
- シロアマダイは最大で全長60cmを超える、あまだい類の中でも最も大型の魚で希少性が高く、市場ではキロ単価3~5万円取引されることもあります。
- 山口県は平成29年からシロアマダイの種苗生産に取り組んでおり、今年度、全国で初めて人工生産魚からの種苗生産に成功しました。
- 子の種苗の最初の放流は、地元長門市のみすゞ保育園ひまわり組の園児たちにお手伝いをしてもらいました。
- 水産研究センターからシロアマダイの説明を行い、飼育水槽等を見学した後、放流を行いました。
- また放流の後は、タッチングプールで長門の魚たちとふれあい、園児たちは大喜びでした。



○この日を皮切りに、県内各地で計5万尾が放流されました。

○今後は水産研究センターにおいて放流効果の調査を実施していきます。

○後日、みすゞ保育園よりお礼の色紙をいただきました。
ありがとうございました。

